

国際競争力強化に向けたわが国の産学官連携の推進

概要

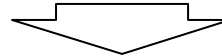
～産学官連携に向けた課題と推進策～

2001年10月16日 (社)経済団体連合会

産学官連携に対する産業界の考え方

1. わが国の国際競争力強化と産学官連携

わが国では、産学官の連携が必ずしも十分に行われておらず、日米間の産業競争力の格差の大きな要因となっている。わが国の企業は、世界中から実用化に向けたシーズを積極的に探しており、日本の大学が最高水準の研究を行い、大学内における産学連携の環境を整備すれば、国内における産学官の連携は進む。

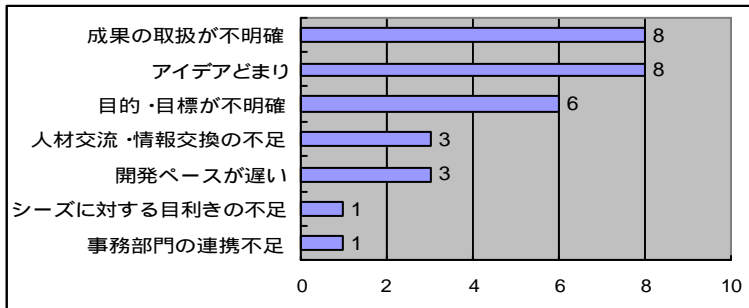


2. 産学官連携の好循環を作りだすためのシステム改革

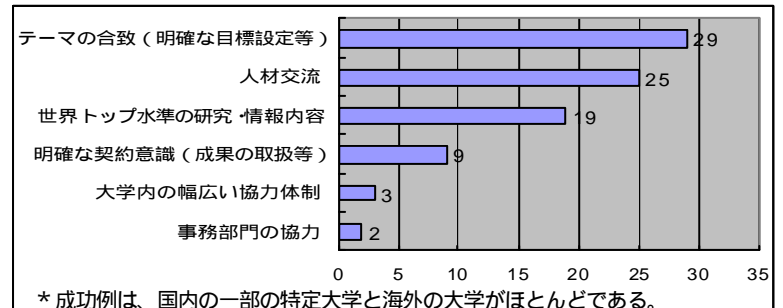
産学官連携を推進する上で、最大の障害は、大学側において産学官連携へのインセンティブが弱すぎることであり、意識改革とインセンティブの付与が不可欠であり、大学内での評価にとどまらず、社会全体として産学官連携推進を評価する仕組みを作ることも必要である。産学官連携に意欲と実力のある大学が、組織対組織の明確な契約関係の下に、積極的に取り組めるように環境整備を行うべき。当事者たる企業と大学の建設的対話が不可欠。経団連としても、以下の指摘中心に大学と積極的に対話を進める。

産学官連携を推進する上での課題 - 産学官連携に関するアンケート調査結果 (回答25社) -

1. 産学官連携における各社の失敗の要因 (事例12件、複数回答あり)



2. 産学官連携における各社の成功の要因 (事例36件、複数回答あり)



わが国の大学が産学官連携に自ら魅力を感じ、積極的に取り組めるシステムの構築が必要

(参考) 海外の大学が国内の大学より優れている点

企業ニーズの把握、契約内容、学内協力体制、産学連携の意識、提案能力、研究・情報内容

産学官連携を推進する上での具体策について

～意欲と実力のある大学との産学連携を進め、成功事例を創りだすために～

1. 産学官連携が評価されるシステムの構築

- (1)大学側における改革
大学教員の業績評価へ産学連携を追加
大学の内部評価へ外部の民間人材を活用することにより、幅広い視点から評価
産学連携による資金が研究費に必要不可欠となるような配分
- (2)産業界の行動
積極的なシーズの発掘と成功モデルの提示
- (3)官による制度変更
産学連携を考慮した競争的資金の配分
マッチングファンドの創設
産学官連携の成功例の表彰

2. 産学官の人材交流の活性化

- (1)民間から大学へ
教授の公募制の活用、任期付任用の拡大等による外部人材の登用、産学官の人材交流の活性化の仕組みについて検討
採用基準の見直し(博士号や論文以外の実績の考慮)、採用過程の透明化
- (2)大学から民間へ
大学の判断による教員の兼業・休職の柔軟化・自由化
企業の研究所での共同研究の充実
インターンシップの拡充、CASE制度の検討(奨学金による博士課程学生による企業関心テーマの研究)

3. 産学官の相互理解の促進とインターフェースの充実

- (1)産学官の相互理解の促進
産学官連携サミットの開催と産学官対話の継続
大学間で産学官連携を検討する場の設定と経団連との対話の実施
- (2)大学の産学官連携に対する支援体制の整備
窓口の一本化と学内協力体制の構築
産学官連携の支援組織への民間人の採用
- (3)知的財産権の扱いと明確な契約関係の構築
大学研究員の発明成果の大学への帰属
知的財産の取扱における柔軟かつ明確な契約、及び、互恵的な契約モデルケース等の検討
- (4)産学におけるシーズとニーズの積極的発信

4. 世界最高水準のシーズ創出ができる大学のあり方

- (1)今後の大学のあり方
トップがリーダーシップを持つ経営組織体としての特色ある大学
非公務員型の独立法人の選択
地方国立大学の地域活性化への貢献
- (2)大学への競争原理の導入
能力主義、業績主義の導入と、教育と研究の評価基準の明確化
情報公開の徹底
施設整備予算の充実と、業績・評価に基づいた重点的な配分
- (3)私立大学と国立大学のイコールフットリング
委託研究費の非課税化等